

平成28年度
いわき建設事務所 設計時施工技術検討会

いわき石川線(才鉢工区)
事業概要

平成28年7月19日(火)

福島県 いわき建設事務所

本県の復興に向けた道路ネットワークの考え方

津波被災地域の復興支援

- 復興まちづくり支援路線の整備

道路ネットワーク強化

- 浜通り軸の早期復旧・整備、生活支援道路
- 復興支援道路、**東西連携道路**

戦略的道路整備

ふくしま復興再生道路

- ・（仮称）小名浜道路 など 8路線

↔ 6本の連携軸

↔ ネットワーク強化道路

↔ ふくしま復興再生道路

福島県復興計画

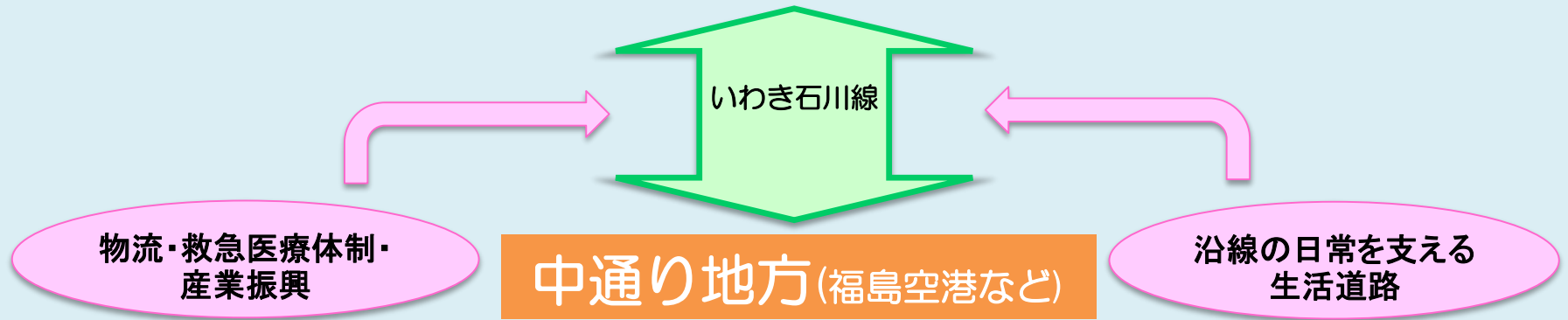


津波被災地（復興交付金）

小名浜港

いわき石川線は、東西連携道路（道路ネットワーク強化）に位置付け

浜通り地方（重要港湾小名浜港など）



3回の土砂災害



＜平成18年＞豪雨による土砂崩壊



＜平成23年＞東日本大震災余震



＜平成26年＞豪雨による土砂崩落

防災・改築

計画概要

【計画概要】

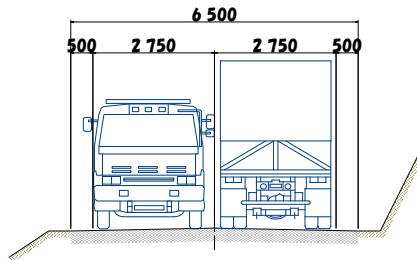
事業名	いわき石川線道路改良事業
事業の種類	主要地方道 いわき石川線
通行する行政区	いわき市
事業区間	自：福島県いわき市田人町石住字才鉢 至：福島県いわき市田人町石住字神山
事業の規模	計画延長L≒3.0km
道路の区分	第3種第2級
計画速度	60km/h
車線数	2車線

【位置図】

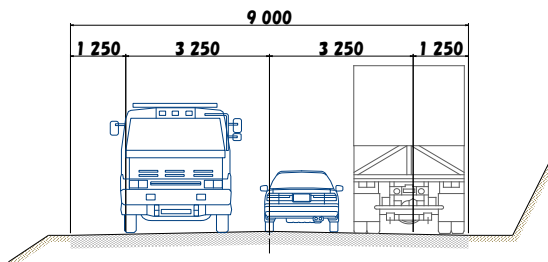


【断面図】

現況幅員



計画幅員



※故障車両が停車した場合でも、対面走行可能

③効果① 防災・災害等に対する安全・安心の確保

- ❑ 土砂崩落の危険性の高い箇所回避

効果② 良好な道路平面線形の確保

- ❑ 大型車等が安全に対面できる幅員確保
- ❑ 車道・路肩幅員を確保することにより、故障車が停車している場合でも対面通行が可能

効果③ 沿線の安全性の向上

- ❑ 集落を通過する交通の解消

計画概要図



橋梁位置図

橋梁名	委託業者	橋長	上部構造形式	下部構造形式
(仮)才鉢1号橋	(株)オリエンタルコンサルタンツ	L=164.4m	鋼2径間連続非合成箱桁	A1: 逆T式橋台(直接) P1: 張出式小判型橋脚(直接) A2: 逆T式橋台(直接)
(仮)才鉢2号橋	日本工営(株)	L=99.1m	鋼2径間連続非合成箱桁	A1: 箱式橋台(直接) P1: 張出式小判型橋脚(直接) A2: ラーメン式橋台(場所打ち杭)

